



これまでの「輝け！おばねっ子」は上のQRコードからご覧いただくことができます

～尾花沢の未来をひらくいのち輝く人間の育成～

※毎週月曜日発行予定です

## 「特別活動」ってどんな授業？～学習指導要領研修会②～

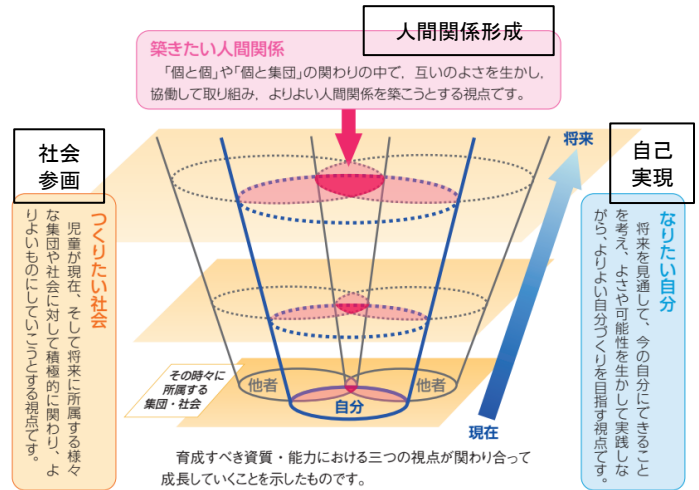
今回は「特別活動」についての説明です。

特別活動は、共通の目標を目指し、協力して実践していく「集団活動」と、自分たちの力で諸問題の解決に向けて具体的な活動に取り組む「実践的な活動」を特質とし、大人になったときに実生活や実社会で活用できる汎用的な力を育みます。汎用的な力は、右図のように

- ①「人間関係形成」＝違いを認め合い、みんなと共に生きていく力を育てます。
- ②「社会参画」＝よりよい集団や社会をつくらうとする力を育てます。
- ③「自己実現」＝なりたい自分に向けてがんばる力を育てます。

の3つの視点を柱として、考えられています。

特別活動は「学級活動」「児童会（※中学校は生徒会）活動」「クラブ活動（※小学校のみ）」「学校行事」で行われています。特に、毎週行われる「学級活動」において、「合意形成」と「意思決定」は、大切にしたい学習過程です。



特別活動指導資料「みんなで、よりよい学級・学校生活をつくる特別活動（小学校編）」より

(1)学級や学校における生活づくりへの参画	<b>合意形成</b>	自分と異なる意見や少数の意見も尊重し、折り返いを付け、 <u>集団としての意見をまとめる</u> ※自分もよくみんなもよくなるように！
(2)日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全	<b>自己実現</b>	集団での話し合いを通して、 <u>個人の目標を決める</u>
(3)一人一人のキャリア形成と自己実現		

### ■研修会に参加した先生方の振り返りから

- 「特別活動が教育活動の中心だ」という言葉を耳にしたことがありました。改めて「何のために、何を、どのように実践していくか」、そして「児童が主体的になるように私たちができることは何か」を考えていきたいと思いました。
- 学級活動をさらにしっかり行うことで、よりよい集団、個人に育っていくのだ、と改めて気づかされました。特に、話し合いの仕方が、各教科の授業に生きたり、学級の問題を解決したりすることにつながることを意識していきたいと思いました。

特別活動は、本市で取り組んでいる「絆づくり」「居場所づくり」の教育活動と関連付いた重要な学習過程を含んでいます。特別活動を充実させることによって、大人になっても社会の一員として【社会参画】、よりよい人間関係を形成しながら【人間関係形成】、自分の人生を切り拓いていく【自己実現】力を育むよう、努めてまいります。

【担当】尾花沢市教育委員会こども教育課  
教育指導室長 工藤 雅史  
TEL 23-3330